

## 婦人科レジデント研修カリキュラム

婦人科腫瘍専門医を目指す研修

### 研修目的

---

婦人科腫瘍専門医を取得するための実地修練

### 研修目標

---

日本婦人科腫瘍学会の定める婦人科腫瘍専門医修練ガイドラインを熟読し、これに沿って修練する。

### 年度別到達目標

---

1年目到達目標

1. 臨床

I. 診断技術の基礎修得

- a. 内診、コルポスコープ、細胞診採取法、生検法、膀胱鏡、子宮頸部円錐切除法、超音波等の技法の修得
- b. 放射線(単純、造影、CT、MRI)読影の修得

II. 婦人科がん治療法の基礎修得

- a. 基本手技の修得: 腹腔穿刺、胸腔穿刺、子宮止血法、リンパ節生検法
- b. 疼痛管理法の修得: 正しい麻薬の投与方法、ブロック等の理論の理解
- c. 放射線治療法の理解: 適応、線質の選択、副障害の対策
- d. 化学療法の基礎の修得: 化学療法剤の効果・副作用の理解

- プラチナ製剤およびタキサン系製剤ならびに分子標的薬の使用法の理解と習熟

e. 手術療法の基礎の修得

- 子宮頸部円錐切除術、単純子宮全摘
- 準広汎子宮全摘、骨盤リンパ節廓清、大網切除
- 腹腔鏡下单純子宮全摘術

III. がん患者対応を習熟

- a. 病歴聴取、家族関係、告知、精神的ケアの経験を重ねる

2. 研究

- I. 全国学会発表 2 回、地方学会発表 1 回を目標として研究・学会活動をする

2年目到達目標

1. 臨床

I. 診断技術の確立

- a. コルポスコープ、細胞診断、病理診断を修得する

II. 婦人科がん治療法の確立

- a. 化学療法の応用: 稀少がん腫、難治例に対する化学療法の経験を積む
- b. 放射線治療法の応用: 腔内照射法の修得
- c. 手術療法の手技の確立
- 広汎子宮全摘、傍大動脈リンパ節廓清、外陰切除術
  - 泌尿器および骨盤外科領域手術の見学
  - 腹腔鏡下单純子宮全摘術(+骨盤リンパ節廓清)

### III. がん患者の全人間的ケア

a. カウンセリングの経験を重ねる 緩和ケア病棟の理解

#### 2. 研究及び資格取得

1 全国学会発表 2 回、原著論文 1 編を目標とし、自主的な研究・学会活動をする

#### 2 日本臨床細胞学会の細胞診専門医

日本婦人科腫瘍学会の婦人科腫瘍専門医の資格取得を目標とする。

希望によっては日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定医、臨床遺伝専門医制度委員会 臨床遺伝専門医の取得を目指すことを開始することができる。

### 研修評価方法

---

評価法にて実施

最終改訂：令和4年3月16日